

餃子を作ってみんなで食べました



今月は、餃子を作って食べました。皆さんが「美味しい、美味しい」と喜んで食べられたり、「うちでも作って食べてるだよ〜」「皮を包むのが難しいなあ」など、おしゃべりしながら頂きました。皮を包むのは、慣れないと結構難しく、包むのを一部始終真剣に見ているご利用者様もいました。

今後もご利用者様と一緒に参加できるレクレーションを考えて、やっていきたいと思えます。

s s
みらい
新聞

第 58 号
2018 年 6 月
発行責任者
新津 尚

日本の高齢化における介護

●日本の高齢化・年齢構成の変化



<国立社会保障・人口問題研究所 平成18年12月推計>

少子高齢化が進む中、もはや介護は家族だけで対処できる問題ではなくなっています。「老老介護」「認認介護」などという言葉や、虐待や孤独死など切ない事件を耳にすることも多くなりましたが、介護も社会化の時代です。すべてを一人で抱え込まず、社会的なサービスを活用しながらいきましょう。介護保険制度は、介護にかかる負担を社会全体で支える制度です。これによって必要な人が必要なサービスを介護の専門家とともに選び、気がねなく利用できるようになりました。「与えられるサービス」から「選べるサービス」へと大きく変わったのです。

私たちの食生活は大丈夫?

普段は、食生活に気を配ることなく、コンビニや外食をしている私たちですが、その裏側を見る必要もあります。そこには本当は、恐ろしい事実があります。ガンや脳卒中、心臓病など3大疾患を始め、うつ病や認知症に

大崩壊渦巻く
[今ここ日本]で
慧眼をもって
生きる!

増川いづみ×船瀬俊介
医療は始めに過ぎなかった
不自然な医療を裏で構築している者たちは
政治も教育もマスコミも食も農業もすべてを
崩壊と洗脳の渦に巻き込もうとしている!

至るまで、生活習慣病を発症する原因は、食にあると言えます。食品添加物の許認可も日本は、先進国の中で第1位 1000種類を超える添加物が認可されています。遺伝子組み換えの動物肉も気を付けた方がいいです。食の裏側では、本当に恐ろしいことが起こっています。自分と家族の健康、身の安全は自らが学び、守っていくことが必要な社会になりました。「アミノ酸等」＝「神経毒」、毛が無い1羽から6本のもも肉が取れる「ヌードチキン」、「成長ホルモン」＝「猛烈な発がん物質」等々